

緊急 新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査票

本調査へのご回答方法は、①メール、②FAX、の2通りでございます。

①メール(info@miekeikyo.jp) ②FAX(059-228-3710)の場合は、調査票に回答内容をご記入いただき、上記までご送付をお願いします。

【ご回答期日】2020年9月4日(金)

貴社名					
回答者氏名		所属部署			
		役職			
TEL		() -	FAX		() -
従業員数(全社)		1. 100人未満	2. 100~299人	3. 300~999人	4. 1,000人以上
業種	製造業	1. 一般・精密機器、電気機器、輸送用機器		2. 鉄鋼、金属製品、非鉄金属	3. 化学工業
		4. 窯業・土石製品		5. 食料品	6. 印刷・同関連
		7. 繊維工業		8. その他製造業	
非製造業		9. 卸売業、小売業	10. 運輸業、郵便業	11. 建設業	12. その他非製造業

【回答のご記入方法について】

・質問には、記入式と選択式があります。選択式については、当てはまる番号に○をつけてください。「複数回答可」の場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※本調査に関するお問合せは、会員サービス部 中村(Tel.059-228-3557)までお願い致します。

※結果公表に際して、個別の企業名は一切掲載いたしません。

Q1:2020年1月~7月の間で従業員の休業を実施しましたか。(あてはまる箇所○を付けて下さい。)

実施した

実施しなかった

※従業員は、非正規従業員も含む

Q2:Q1で、実施したと回答された事業所のみご回答下さい。

休業期間中、雇用調整助成金を申請されましたか。

申請した

申請しなかった

申請予定

※事業所で、一部の部署のみ対象も含む

Q3: 2020年1月～7月の間で、従業員の在宅勤務・テレワーク・時差勤務を実施されましたか。

実施した	実施しなかった	今後実施する予定
※事業所で、一部の部署のみ対象も含む。		

Q4: Q3で、実施したと回答された事業所のみご回答下さい。

在宅勤務・テレワーク・時差勤務を実施したきっかけは次の内どれにあてはまりますか。

① 新型コロナウイルスをきっかけに実施

② 以前より実施していた

③ その他()

※その他に該当する場合は、その理由もご記入下さい。

Q5: Q3で、実施したと回答された事業所のみご記入下さい。

在宅勤務・テレワーク・時差勤務を実施し、メリットだと思うものにご回答下さい。(複数回答可)

① 人財の確保・生産性向上(離職率の低減)

② 働き方改革が進んだ

③ 業務プロセスの見直しができた

④ 定型的業務の生産性が向上

⑤ 運営コストの削減(通勤手当、事務所費等)

⑥ 従業員の安心と災害発生時などのリスク低減

⑦ 企業イメージの向上

⑧ その他()

※その他に該当する場合は、その理由もご記入下さい。

Q6: Q3で、実施したと回答された事業所のみご記入下さい。

在宅勤務・テレワーク・時差勤務を実施し、デメリットだと思うものにご回答下さい。(複数回答可)

① 従業員の管理が難しい

② 人事評価が難しい

③ 従業員同士のコミュニケーション不足

④ 書類への押印業務

⑤ 情報セキュリティ管理が難しい

⑥ 労務管理が難しい

⑦ その他()

※その他に該当する場合は、その理由もご記入下さい。

Q7: 今後、在宅勤務・テレワーク・時差勤務を進める上で必要だと思うものにご回答下さい。
(複数回答可)

- ① 補助金・助成金
- ② 支援を受けるためのアドバイザー等専門家派遣
- ③ 支援に対する情報提供や相談窓口
- ④ 資金融資
- ⑤ 推進する為の勉強会開催
- ⑥ ネットワーク環境の整備
- ⑦ PC・スマホ等機器の確保
- ⑧ 情報セキュリティ体制の整備
- ⑨ その他()

※その他に該当する場合は、その理由もご記入下さい。

Q8: 2020年1月～7月の間で、従業員の雇い止めを行いましたか。

実施した	実施しなかった	今後実施する予定
※非正規従業員・派遣社員を含む		

Q9: 2021年度卒業予定者の採用数についてお伺いします。

今年度より増	今年度より減	今年度と同数	取りやめ	検討中
※大学、短大、専門、高校全て含む				

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。